

# さわやか

## 温冷配膳車を導入しました



温冷配膳車は温蔵庫と冷蔵庫機能が合体したもので温かいものを温かく、冷たいものを冷たい状態で維持できる配膳車です。以前は調理したものを保温食器やメラミン食器の小鉢に盛り付けた後、既存の温蔵庫または冷蔵庫にいったん保管し、配膳車を病棟に渡す直前にバタバタと配膳車にセットしていました。しかし、配膳車自体がその機能を有しているため、調理し盛り付けた後、すぐに配膳車にセットできるようになりました。人手不足に悩む栄養管理科にとって、1分1秒でも時間が欲しい!! 導入したことで、翌日の準備ができるようになりました。

(文責: 栄養管理科 山本 愛子)

## 私のおすすめ店

### JR古賀駅から徒歩7~8分、小料理「和加」

カウンターの奥には掘りごたつのお座敷。宴会の際には貸し切りにさせてもらっています。

暖簾をくぐり「ただいま」「おかえり」とホッとすると、雰囲気、女性ひとりでも気軽に飲みに行けます。元気のいい母娘ふたりで切り盛りされ、古賀の放生会では名物の牛飯と牛すじカレー、おでんなどが店頭並び、古賀市民の憩いの場となっています。

私のおすすめは、新鮮なお刺身、ばあば手作りの漬物とらっきよ漬けです(\*^\_^\*) ぜひ、立ち寄りしてみてくださいm(\_ \_)m

(文責: 看護師 青柳 宏美)



営業時間18:00~24:00  
(定休 日曜日)

## 編集後記

今回初めて広報誌「さわやか」に携わることになりました。

昨年もさまざまな出来事がありましたが、個人的には夏に旅行で訪れた北海道が印象に残っています。北海道の景色はどれも広大で、心癒やされるものばかりでした。特に色彩の丘で見た色とりどりの花のパレットが美しく、個人的にお気に入りです。次にまた行く機会があれば、今度は冬の雪景色も見てみたいと思っています。

今年もみなさまにとって幸多き一年になりますように。

(文責: 検査科 大音 瞳)



## ご案内

当院では、心身のさまざまな不調に対して、きめこまやかな治療ができる体制を整えています。お気軽にご相談ください。

■診療科目	内科・精神科・脳神経内科・リハビリテーション科
■外来診療時間	平日 / 9:00~12:00 休診日 / 土曜日・日曜日・祝日 <small>※受付は11:30まで(予約制) ※新患受付は9:00~11:00まで</small>
■設備概要	病床数 / 474床
内科	精神科
障害者施設等一般病棟.....120床	精神一般病棟.....48床
医療療養病棟.....261床	認知症治療病棟.....45床
(うち、回復期リハビリテーション病棟 100床)	
■介護保険施設	北九州古賀病院介護医療院 120名

### 外来診療担当医一覧

	月	火	水	木	金
内科	石光	小川	中村	田浦	高田
	久保田	富田(※)	大脇	木元	大重
	山邊				
専門外来		早川		早川	
精神科	木村	木村	渡邊(第1・3)	生島	生島
※受付: 午前8:30~11:30(初診 ~11:00)					



作: 石井看護副部長

### 患者さんの権利と責務に関するお知らせ

北九州古賀病院は、患者さんの権利を尊重し、病院の基本理念に基づいて良質な医療の提供を目指します。

#### 患者さんの権利

- 1. 良質な医療を受ける権利**  
患者さんは、適切で公平かつ良質な医療、看護、介護のサービスを受け続ける権利があります。
- 2. 治療方法などを自由に選択する権利**  
患者さんは、治療方法などを自分で選択し、また拒否する権利があります。
- 3. 自分の病状等について十分な説明を受ける権利**  
患者さんは、自分の病状、検査、治療などについて、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。

#### 患者さんの責務

- 1. 自身の健康に関する情報を提供する責務**  
病院に対し患者さん自身の健康に関する情報を出来るだけ正確に提供して下さい。
- 2. 医療に協力する責務**  
医療に協力し、他の患者さんの治療・療養に支障を与えないように配慮して下さい。



社会医療法人 北九州病院  
**北九州古賀病院**

〒811-3113 古賀市千鳥2丁目12番1号  
TEL 092-942-4131 FAX 092-943-9622  
[https://www.kitakyu-hp.or.jp/contents/kitahos\\_koga.htm](https://www.kitakyu-hp.or.jp/contents/kitahos_koga.htm)



# ごあいさつ



院長  
橋爪 誠

新年明けましておめでとうございます。

昨年はパンデミックと人工知能普及の年で、情報化時代への大きなパラダイムシフトを体験しました。如何に精確で迅速な情報を取得するかが、すべての営みの命運を左右することもわかりました。医療の世界でもすべて物の動きを定量化し、計測値や経験値のビッグデータをデータベース化して、人工知能を用いたベストな診断・治療法の選択や結果予測が可能となり、ヒトに行動変容を起こし、ウェルビーイングを追求する時代となってきました。今や不可能と考えられていた心の動きや感情表現までも表示できます。人間らしさや真の幸せについて改めて考えさせられます。

北九州古賀病院が皆様方から愛され、信頼される病院となるよう全職員尽力する所存です。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



看護部長  
中野 明子

新年あけましておめでとうございます。

昨年は働き方改革関連法によって運送業・建設業・医師の3つの業種で時間外労働の上限規制が始まりました。長時間労働は健康障害へのリスクが高まるため健康を守るためには長時間労働の規制は必要なことです。その一方、少子高齢化の時代人手不足が深刻となっており、人材確保が難しくなっています。病院において人手不足となれば、医療サービスの質が低下し医療事故のリスクが高まります。残業時間が増え、職員の疲労が蓄積することも問題です。悪循環となります。その為、適切な人材確保や業務改善と効率化を図るためのITツールの導入等を検討し、業務の負担軽減を図っていかねばと考えております。

これからもより良い医療サービス提供のために職員一同努力してまいります。



事務部長  
相森 信義

新年あけましておめでとうございます。

関係者の皆様には、日頃より病院運営に対し、ご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、昨年はパリオリンピックが華やかに開催され、日本は海外の大会では過去最高のメダル数45個を獲得し有終の美を飾りました。一方、医療介護の業界に目を移しますと、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービスのトリプル改定の年でした。物価高騰、賃金上昇、人材確保、医療・介護・障害福祉の連携強化等の環境が変化中、急速に進展する超高齢化社会を見据えた厳しい改定となりました。このような状況にあつて、当院が患者様に選ばれる病院であり続けるためには、サービスの質の向上、患者様への寄り添い、患者様の満足度の向上が重要であると思ひます。今後とも職員全員が知恵を出し合い、この難局を乗り切つて行く所存です。宜しくお願ひ申し上げます。

今年が皆様にとってより良い年となりますことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

## Dr 紹介



医師  
和田 寛也

令和6年4月1日に着任した医師の和田寛也です。昭和61年九州大学卒業で64歳の元外科医です。高校・大学・医局・研究グループの大先輩である橋爪院長と大学以外で初めてご一緒させていただくことになり、内科医として働いています。

長年、急性期病院で消化器外科を担当しながら、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(TEP法)の技術伝承をしてきました。前任のちくし那珂川病院でほぼ内科医となっていました。たまに外科手術をしていました。また病院だけではなく老健施設長の経験も2度あります。

私的なことでは2月に息子のところに待望の初孫(女兒)が誕生し、また渡米していた娘が里帰り出産のため5月から同居していましたが10月5日に無事に女兒を出産しました。子供が巣立ち、ここ数年は妻とトイプードル2匹とで静かに暮らしていましたが、新しい家族が増え、孫2人も順調に育っておりとても賑やかになってきました。

これまでの経験を活かしつつ自分にできることを精一杯やっていく所存ですので、今後ともよろしくお願ひいたします。

## 喜怒哀楽

・アルバムの一頁・



1月 豆まき(医療院)



3・4月 お花見



3・9月 慰霊祭



3月 院内研究発表会



6・9・12・3月 防火訓練



7-9月 豊作(院内菜園)



10月 秋まつり



10月 運動会(医療院)



12月 餅つき(精神科)

様々な症状で入院・入所されている患者さん・入所者さん。日々少しでも日常を思い出していただけるきっかけになればと、工夫を凝らして行っている行事などです。一人でも多くの患者さん・入所者さんに楽しんでいただければと思っています。

また、患者さん・入所者さんの安全を守るための勉強会や訓練も積み重ねています。